

# 北中通信

- ・【創造】疑問をもとに生きて働く知恵を創り出し、表現する
- ・【友愛】他人の気持ちを想像し、人のために尽くす
- ・【誠実】誠実に自分の役割を果たす
- ・【健康】強い心と体をもち自分を信じて挑戦し続ける

No.2 「今が本番 今日が本番」

2017/4/27 文責：校長 荻野 桂司



郡市中体連春季大会（陸上：走幅跳）より

北中学校の特色ある教育活動のひとつに、キャリア教育があります。

志をもち、自らの生き方を切り拓く生徒を育成するために、将来の社会的・職業的自立に向けて必要な資質や能力を、本校の様々な教育活動を通して高めていくことを目指しています。

特に教科の指導では、「今の授業がつながる未来」を合い言葉に、次の“六つの姿”を身に付けていくことを、生徒と教員の双方が意識していくことを重視しています。

## <キャリア教育を通して高める“六つの姿”>

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ○自分の考えをもち表現する姿  | ○目標を定めて計画を作る姿   |
| ○課題に粘り強く取り組む姿   | ○進んで人とかかわりをもつ姿  |
| ○役割を自覚し、それを果たす姿 | ○よりよい生き方を求め続ける姿 |

先日行った今年度最初の学校集会では、「大人になるための学校」である中学校の生徒として、改めて「今」の大切さに気付いて欲しいと話しました。「過去」にとらわれたり「未来」に不安を感じたりするあまり、「今」すべきことがおろそかになってはならないと思います。

「今」、そして「今日」を充実したものとするためのヒントとして、一冊の本の文章を朗読しました。

『今日はきっとすばらしい一日になる』と、同じ言葉を心の中で五回もくり返し唱えるということは、その日が言葉の通りになるようにと、自分で自分に働きかけていることなのです。(中略)一日の始まりを全く意識せずに、いつ始まったか分からないような生活をするのは、その日一日が人間らしさを失っているといっても過言ではないでしょう。

\* 百瀬昭次著・偕成社刊 『君たちは偉大だ』より

さらに、話の最後には、東井義雄さん(教育者)の言葉、「今が本番 今日が本番 今年こそが本番」と、高田明さん(ジャパネットたかた前社長)の言葉、「人間は今を頑張れば明日を変えられる」を紹介しました。輝ける毎日を積み上げる中で生徒が自己実現を図り、郷土や日本を担う社会人へと成長していくことを、しっかりと支えていきたいと思ひます。



# 「千一北中」航海中！（4月編）

## 交通安全教室：4月13日（木）

本校では、進学後の自転車通学も見据え、生徒全員に自転車通学を認めています。

はじめて自転車で通学する1年生も含め全学年で、安全な自転車の乗り方の基本を学びました。当日は、小野駐在所の岩田様から、「自転車の急停止は、**前輪3割：後輪7割の力加減でブレーキをかける**と前輪の操作がしやすくなり、転倒や衝突を避けることができる」という具体的な指導をいただきました。また、校外の道路を使用した体験走行では、交通指導員の池田様、山内様にご協力をいただきました。紙上をお借りしてお礼申し上げます。

**大型連休中は、校区内や市内の交通量が増えます。急な飛び出しはしない、ヘルメットを着用するなど、ご家庭でも自転車の安全運転をご指導ください。「目指せ、事故ゼロ・違反ゼロ！」**



## 退任式：4月14日（金）

年度末人事異動でご退職・ご異動された7名の教職員の皆さんのうち5名の方が、退任式にご出席くださいました。

代表の生徒から、花束と送別の言葉をお贈りましたが、メッセージを読み上げる生徒の声で涙で途切れる一幕も。「**かけがえのない出会いの重み**」を実感することができた春の午後でした。



## 小野小での外国語活動の指導

小・中学校間連携の取組の一環として、中学校の教員が小学校高学年での教科等の指導をチームティーチングで行っています。

従来の理科に加え、今年度は、外国語活動の授業を本校の英語科主任（黛ゆかり教諭）が担当することとなりました。

グローバル化が進む社会の中で必要な英語によるコミュニケーションの基礎となる力の育成を図るとともに、小学校の先生方が取り組んでいるより良い授業づくりを支援していきたいと考えています。



4月26日（水）5校時の授業風景

本通信に関するご意見・ご要望等は、生徒を通じて校長・荻野までお届け下さい。電話・Fax等でも結構です。